



国見中学校だより

うえのはら

令和6年2月28日 第8号 文責（加藤）



学校教育目標「自ら気づき、考え、判断し、主体的に行動する生徒が育つ学校」

○ あわただしく過ぎていく3学期、残すところ一月となりました。

通勤中に黄色の花をつけた菜の花をあちらこちらで目にするようになりました。また、自転車小屋付近を歩いていると、遠く山の方からウグイスの鳴き声も聞こえてきました。吹く風はまだ冷たいものの、日一日と春に向かっていくことを実感します。

学校では、3月5、6日に実施される県立一般選抜入試に向け、3年生は面接練習に受験勉強にと頑張っています。その一方で、8日に行われる卒業式に向けた準備も着々と進んでいます。1・2年生は卒業していく3年生のために、3年生は中学校最後の舞台に向けて合唱の練習に励んでいます。最初はなかなか出ていなかった声が、校長室にいてもだんだんと大きく、そして美しくなってきたのを感じます。これまでの3年間を思い出しながら、曲の歌詞の言葉一つ一つをかみしめながら、共に過ごしてきた仲間とともに声を響かせてくれることと思います。もちろん、1・2年生の皆さんも感謝の心を込めて。生徒の皆さん一人一人の思いが伝わる素晴らしい卒業式になればと思います。



○ 朝、あいさつをされていてうれしいことがありました！

出張等がない日は、できるだけ校門に立ち生徒の皆さんや保護者の方々にあいさつをしていますが、学校の前を通られるのは、高校生や散歩をされる地域の方々などさまざまです。

いつものように、あいさつをしていると、高校生（おそらく本校卒業生）が、にこやかな笑顔とともに「毎朝、ありがとうございます。」と言って、私の方へきてくれました。状況がつかめないまま、私も「おはようございます。」と返しましたが、そのあと高校生から、「もう、卒業なのでこの道を通るのは今日が最後になるので、お礼を言いに来ました。」とのこと。そのあまりにも自然に出てきた言葉に、何とも言えないさわやかな気持ちと感動をもらい、目頭が熱くなりました。私が本校に赴任する前の生徒なので、名前はわかりませんが、国見中学校の卒業生であることは間違いありません。国見中学校ってやっぱりすごいと感じました。その一方で、同じ国見中学校の卒業生として、私自身もしっかりしなければという思いを強くしました。

それともう一つ、あいさつを終えて戻ろうとしていたらなんと国見中学校から、くっきりと大きな虹がかかっていました。あわてて、カメラで撮影したため、

うまく映り込んでいませんが、実は、この虹は二重になっていました。学校から大きく伸びていく虹を見ながら、国見中から新しいステージへ巣立っていく3年生の姿が目につかびました。



○ 駅伝大会の開催ができず、申し訳ありません。

例年行われていた学級対抗の駅伝大会についてですが、土日開催の行事精選に伴い、これまで実施していた土曜日から平日での開催を考えていました。しかし、私自身の見通しの甘さのため、実施時期を逸してしまい、今年度は開催することができなくなってしまいました。

楽しみにされていた生徒の皆さんや保護者の方々、たいへん申し訳ありませんでした。来年度、改めて開催方法等早い段階で検討し、お知らせいたします。